

項目	内容
名称	マテ [英]Mate、Paraguay tea [学名]Ilex paraguayensis St. Hill.
概要	<p>マテは、パラグアイ、ブラジル、アルゼンチン原産のモチノキ科の常緑低木あるいは小高木で、高さ3～20 m程度に生長する。乾燥させた葉を粉末にして湯に浸して飲む。</p>  <p>写真提供: 広島大 医歯薬 生薬学研究室</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・16%以上のタンニンを含む (33)。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・Fe、Ca、Mn、Mg、Na、K、Znおよび Cuが原子吸光分光光度計により分析されている (PMID:9429648)。 ・フラボノイド類、フェノール酸類、キサンチン類をHPTLC法にて分析した報告がある (PMID:23841023)。
有効性	

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。	
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。	
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。	
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。	
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。	
ヒトでの評価	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	RCT ・健康な男性12名 (平均25.1±3.6歳、ブラジル) を対象としたクロスオーバー無作為化比較試験において、マテ茶200 mL×3回/日を11日間摂取させ、8日目の摂取1時間後に肘屈曲トレーニングを実施したところ、トレーニング24時間後の等尺性収縮力回復、48、72時間後の酸化関連マーカー (還元型グルタチオン) の低下抑制が認められたが、血漿脂質ヒドロペルオキシドに影響は認められなかった (PMID:26917157)。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳

(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)

[\(PMID:9429648\) Arch Latinoam Nutr. 1997 Mar;47\(1\):77-80.](#)

[\(PMID:7841239\) Epidemiology. 1994 Nov;5\(6\):583-90.](#)

[\(PMID:977780\) J Clin Pathol. 1976 Sep;29\(9\):788-94.](#)

(58) The Complete German Commission E Monographs

[\(PMID:7885308\) MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 1995 Mar 24;44\(11\):193-5.](#)

[\(PMID:7707611\) JAMA. 1995 Apr 19;273\(15\):1166-7.](#)

(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)

[\(PMID:23841023\) J Anal Methods Chem. 2013;2013:658596.](#)

[doi: 10.1155/2013/658596. Epub 2013 Jun 6.](#)

[\(PMID:26917157\) Br J Nutr. 2016 Feb 26;1-9.](#)

[\(PMID:17304161\) Ther Drug Monit. 2007 Feb;29\(1\):127-9.](#)

[\(PMID:31737383\) Case Reports Hepatol. 2019 Oct 13 2019 8459205.](#)